

# 平成27年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター

1 次の事業を設置経営し、地域の障害者の福祉向上に努めてきました。

## 障害福祉サービス事業

(1) 小田原アシスト	定員40名	就労継続支援B型
(2) 第2小田原アシスト	定員20名	就労継続支援B型
(3) 喜心寮	定員5名	共同生活援助
(4) 小田原スプリングス	定員20名	地域活動支援センター

就労継続支援B型、小田原アシストならびに第2小田原アシストは、利用者の登録人数が少し増え、出席率も増加し年間を通して安定的な事業運営ができました。

第2アシストからは、9月にパート雇用ではありますが一般企業に1名が就労しました。(清掃業務)

地域生活援助事業は、5名の利用者の方がおり、安定して地域生活を送ることが出来ました。

地域活動支援センターの小田原スプリングスは、利用者の入れ替えはあまりなく今年度も落ち着いた1年を過ごしました。

HONDAの作業を中心としながらも、様々な作業種を持ち、障害程度や本人の意向に沿った作業を提供し、働く施設として活動できました。

HONDA 車部品の作業種が増加し、また一般軽作業の作業量も増加したことで授産事業の収入が増え、利用者の方の工賃を一律アップし、賞与も昨年度に比べ多く支払うことが出来ました。

全体を通して、利用者の方にも大きな事故やけが等もなく、落ち着いて過ごせた1年であったと思います。

## 2 理事会、評議員会の開催状況

### 第44回理事会、第43回評議員会

平成27年5月22日(金)

- 議題
- 1 平成26年度事業報告について
  - 2 平成26年度収支会計決算について
  - 3 平成26年度監事監査結果について
  - 4 理事会運営規則の改正について

### 第45回理事会、第44回評議員会

平成27年11月6日(金)

- 議題
- 1 最近の法人の状況について
  - 2 新規事業の開設について
- 仮称(第3アシスト)就労継続支援B型、生活介護の多機能型事業

## 第46回理事会、第45回評議員会

平成28年3月24日（木）

- 議題
- 1 平成27年度補正予算について
  - 2 平成28年度事業計画について
  - 3 平成28年度収支予算について
  - 4 法人指導監査の結果について
  - 5 第3小田原アシストの新設について
  - 6 社会福祉法人制度改革について

### 3 作品展の開催

10月に、昨年にひきつづきダイナシティウエスト（SEIBUデパート）の吹きぬけ広場キャニオンを借用し、作品展を開催いたしました。

そして今年度は、法人全体で取り組んできたオペレッタの発表を行い、市民の皆様にご好評をいただきました。

また、昨年度同様、3月には小八幡の三寶寺にて、作品展を開催いたしました。日頃から利用者がボランティアの方々と活動を展開してきた文化、創作活動（音楽・陶芸・絵画・絵手紙・書・七宝・刺し子・編物・パッチワーク等）の発表の場であり、障害者についての啓発活動ができたと思います。

### 4 地域防災訓練参加

今年度もビジネス高校での津波の避難訓練及び地域自治会の防災訓練に参加させていただきました。災害時には地域との連携を図っていきます。

### 5 自主製品販売店舗の設置

27年7月に小田原スプリングス敷地内に自主製品（陶芸、七宝、手芸品等）及びパン、クッキーの販売店舗を設置しました。小さな店舗ではありますが、独自の販売店舗を持つ事ができ、地域の皆様に徐々に、認知されてきているようです。利用者の方も、売り子として店番をし地域住民の方とふれあいができています。

### 6 地域交流事業

今年度より自治会を中心とした地域の皆様との交流事業を計画し、見学会を1回（30数名）、陶芸体験を1回（2名）行いました。

# 平成27年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター  
就労継続支援B型 小田原アシスト

## 1 はじめに

全体での登録者も増え、出席率も増加しています。

作業の中心である自動車部品の作業は作業種目が増え、その他の軽作業も継続し、作業量は十分確保することが出来、利用者の安定した生活を支えることが出来ました。また工賃も昨年度より多く支払うことが出来ました。

## 2 利用者の状況

月	開所日	登録者数	出勤延人数	1日平均出勤人数
4	21	42	759	36.1
5	20	43	707	35.4
6	22	44	829	37.7
7	22	44	824	37.5
8	16	44	592	37
9	22	44	798	36.3
10	23	45	862	37.5
11	21	45	796	37.9
12	19	45	724	38.1
1	19	45	695	36.6
2	21	45	786	37.4
3	24	45	879	36.6
計	250			37

1日平均出席人数 1日 37人 (昨年度35.5人)

## 3 職員の状況

援助職員数は、利用者数：援助職員数は7.5：1で配置し、さらに、目標工賃達成指導員を配置しています。

- ① 管理者1名      ② サービス管理者1名 (常勤)
- ③ 援助職員 職業援助員1名 (常勤) 目標工賃達成指導員1名 (常勤)  
生活援助員7名 (非常勤)                      常勤換算7名

## 4 援助の状況

(1) 就労支援 (授産活動)

自動車部品の作業は作業種が増え、自主製品（パン、ケーキ、クッキー、陶芸等）や一般軽作業を継続し作業量は十分確保することが出来ました。また、工賃も昨年度よりも多く支払うことが出来ました。（授産事業決算書参照。）

① 企業からの受注作業

- ・進和学園より提供されるホンダ技研工業自動車部品の組み立て
- ・スタンレー電気の部品組み立て
- ・ボールペン等の組み立て
- ・その他軽作業

② 自主製品製造販売

- ・パン・ケーキ等の製造販売
- ・陶芸等

② 工賃支払い状況

月	支給総額	工賃 最低～最高
4	487,400円	400～33,200
5	404,000円	300～26,500
6	525,700円	700～34,100
7	508,300円	800～33,100
8	412,000円	500～26,700
8月賞与	335,100円	300～22,200
9	510,300円	700～33,900
10	497,400円	700～32,500
11	552,100円	500～35,900
12	499,900円	300～32,100
12月賞与	367,100円	100～24,000
1	377,200円	600～24,600
2	521,700円	600～34,600
3	477,500円	300～31,500
3月賞与	233,900円	100～15,000
計	6,710,100円	月平均 12,757円

今年度は、一律に工賃をアップするとともに、賞与についても昨年度以上に支払うことが出来ました。

(2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心で潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に開催したダイナシティ（SEIBU）の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓発活動と自主製品の販売を行いました。

### （3）行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	しゃぶしゃぶ昼食会	しゃぶ葉
5	バス旅行	ポップサーカス相模原
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	しながわ水族館
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティウエスト
11	ボウリング大会	シティーモール
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	海鮮ふじ丸
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

\* 年6回、誕生食事会を実施。

### （4）健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

## 5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加しました。

所内研修

日時 平成28年3月31日（火）午後13時30より15時30まで

職員全員で会議及び「発達障害について」学習会を行った。

## 平成27年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター  
就労継続支援B型 第2小田原アシスト

### 1 はじめに

全体第2アシストでの登録者は、22名になりました。

作業の中心である自動車部品の作業は作業種目が増え、その他の軽作業も継続し、作業量は十分確保することが出来、利用者の安定した生活を支えることが出来ました。また工賃も昨年度より多く支払うことが出来ました。

9月には、1名の利用者がパート雇用ではありますが就労しました。

### 2 利用者の状況

月	開所日	在籍数	出勤延数	1日平均出勤人数
4	21	22	432	20.6
5	20	22	388	19.4
6	22	22	459	20.9
7	22	23	476	21.6
8	16	23	349	21.8
9	22	22	433	19.7
10	23	22	473	20.6
11	21	22	440	21
12	19	22	385	20.3
1	19	22	396	20.8
2	21	23	449	21.4
3	24	22	497	20.7
計	250			

平均出席人員 1日 20.7人 (昨年度19.7人)

### 3 職員の状況

援助職員数の、利用者数：援助職員数は7,5：1で配置し、また目標工賃達成指導員も配置しました。

① 管理者1名(兼務) ② サービス管理者1名(常勤)

② 援助職員 職業援助員1名(常勤) 生活援助員2名(非常勤)  
目標工賃達成指導員1名(非常勤)

### 4 援助の状況

## (1) 就労支援（授産活動）

自動車部品の作業は作業種が増え、自主製品（パン、ケーキ、クッキー、陶芸等）や一般軽作業を継続し作業量は十分確保することが出来ました。また、工賃も昨年度よりも多く支払うことが出来ました。

（授産事業決算書参照。）

### ① 企業からの受注作業

- ・進和学園より提供されるホンダ技研車部品の組み立て
- ・ケーキ袋のシール貼り
- ・その他軽作業

### ② 自主製品製造販売

- ・パン・ケーキ等の製造販売
- ・陶芸等

### ③ 工賃支払い状況

月	支給総額	工賃 最低～最高
4	285,400円	6,100～16,500
5	213,000円	1,100～12,300
6	288,200円	6,400～17,500
7	288,700円	6,500～16,500
8	231,400円	2,300～13,500
8月賞与	189,700円	4,000～10,400
9	265,200円	3,700～16,800
10	255,900円	4,100～16,300
11	290,500円	4,000～18,600
12	260,900円	2,400～14,800
12月賞与	193,500円	3,500～11,500
1	199,400円	4,400～11,600
2	301,500円	3,100～17,500
3	269,300円	2,300～15,800
3月賞与	126,500円	1,500～7,500
計	3,659,100円	月平均 13,653円

今年度は、一律工賃をアップするとともに賞与についても昨年度以上に支払うことが出来ました。

## (2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に開催したダイナシティ（SEIBU）の1階吹き抜けにて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

また、3月にも小八幡の三寶寺にて作品展を開催し市民への啓蒙活動と自主製品の販売を行いました。

### （3）行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	しゃぶしゃぶ昼食会	しゃぶ葉
5	バス旅行	ポップサーカス相模原
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	しながわ水族館
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティウエスト
11	ボウリング大会	シティーモール
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	海鮮ふじ丸
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

\* 年6回誕生食事会を実施。

### （4）健康管理と安全の配慮

健康診断、自治会合同の避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

## 5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

### 所内研修

日時 平成28年3月31日（火）午後13時30より15時30まで  
職員全員で会議及び「発達障害について」学習会を行った。



## 平成27年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター  
共同生活援助 喜心寮

### 1 はじめに

今年度も利用者の入れ替えなく、5名の男子利用者に対し安定した住環境を提供し、安心して地域生活が送れるよう援助をしました。

### 2 利用者の動向

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
援助	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
計	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

### 3 利用者の現況（平成27年3月31日現在）

#### 喜心寮

No	性別	年齢	収入（含年金）	勤務先	担当市町村	支援区分
1	男	27	85,000	第2小田原アシスト	小田原市	区分3
2	男	56	85,000	小田原アシスト	山北町	区分2
3	男	60	85,000	小田原アシスト	小田原市	区分2
4	男	53	100,000	ヤオマサ	小田原市	区分2
5	男	27	85,000	小田原アシスト	横浜市	区分1

### 4 職員の状況

- ① 管理者 1名（兼務）
- ② サービス管理者 1名（兼務）
- ③ 世話人 2名（非常勤、専任）

### 5 行事の実施

法人内の施設行事に参加。

### 6 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

所内研修

日時 平成28年3月31日（火）午後13時30より15時30まで  
職員全員で会議及び「発達障害について」学習会を行った。

## 平成27年度事業報告

社会福祉法人 小田原支援センター  
小田原市地域活動支援センター  
小田原スプリングス

### 1 はじめに

地域活動支援センターとして4年目が経過しました。本人の希望に沿って、精神障害者、知的障害者、身体障害者等が利用しています。

28年3月31日現在、精神障害者が13名、知的障害者が3名、身体障害者が1名、中途障害者が1名、計18名が利用しています。

### 2 利用者の状況

年度当初は19名の在籍登録者で、数名の人の出入りはありましたが、落ち着いた1年間を過ごしました。

月	開所日	在籍利用者数	延べ利用者数	1日平均の出勤人数
4	21	19	182	8.6
5	20	19	197	9.8
6	22	19	231	10.5
7	22	18	189	8.2
8	16	18	136	8.5
9	22	18	179	8.1
10	23	18	178	7.7
11	21	18	186	8.8
12	19	18	176	9.2
1	19	18	139	7.3
2	21	17	144	6.8
3	24	18	171	7.1
計	250			平均 8.3人

### 3 職員の状況

管理者（兼務） 1名  
常勤（専任）指導員 2名  
非常勤指導員 1名

## 4 援助の状況

### (1) 生産活動

毎日通所出来る方から、週に3日程度、月に2～3日利用する方まで様々な方が利用しており、作業種目としては、陶芸、紙漉き葉書、編物等の施設内で自己完結が可能な自主製品の製作と、ノルマのあまりないシール貼り、箱折り、封入作業を導入し個々の作業能力、本人の希望によって作業種目を選択できるようにしています。

### 工賃支給状況

月	支給総額	工賃 最低～最高
4	69,800円	400～13,200
5	68,100円	100～10,700
6	78,900円	400～13,800
7	66,000円	200～13,400
8	53,200円	300～10,900
8月賞与	46,100円	100～8,600
9	64,800円	100～13,600
10	64,100円	100～13,200
11	74,400円	200～14,100
12	63,400円	200～11,300
12月賞与	49,000円	100～9,500
1	44,100円	100～8,600
2	55,200円	100～13,800
3	50,300円	100～11,600
3月賞与	25,500円	100～5,500
計	872,900円	月平均 4,343円

### (2) 文化・創作活動

多くのボランティア（20名余）の技術指導等の協力を得て、陶芸、七宝、絵画、書、絵手紙、パッチワーク、刺し子、音楽、編物の文化・創作活動を日常生活に取り入れ、定期的に展開してきました。これらの活動をとおして利用者は意欲的に物事に取り組む生活態度や自信を培い、豊かな心と潤いのある生活を過ごすことができました。これらの活動の成果は、10月に市内中里のダイナシティ（SEIBU デパート）、及び3月には市内小八幡の三寶寺にて作品展を開催し、障害福祉の大切さを市民に伝えることができました。

### (3) 行事の実施

月	内 容	場 所 等
4	しゃぶしゃぶ昼食会	しゃぶ葉
5	バス旅行	ポップサーカス相模原
6	津波避難訓練	小田原ビジネス高校にて
6	みんなの集い	小田原アリーナ
6	避難訓練	支援センター
9	夕涼み会	支援センター
10	バス旅行	しながわ水族館
10	避難訓練	自治会との合同訓練
10	作品展	ダイナシティウエスト
11	ボウリング大会	シティーモール
11	避難訓練	津波想定避難訓練
12	忘年会	海鮮ふじ丸
12	クリスマス昼食会	各事業所にて
1	落語鑑賞	寿 庵
1	成人と永年勤続を祝う会	小田原市民会館
3	健康診断	かみやまクリニック
3	納め会	強羅、太陽山荘
3	作品展	小八幡 三寶寺

\*年6回誕生食事会を実施。(2ヶ月に1回)

健康診断、自治会と合同避難訓練、津波避難訓練を実施しました。

### 5 職員研修

県社協、市社協、知的障害者施設協会等の研修にも順次参加した。

#### 所内研修

日時 平成28年3月31日(木)「発達障害」についての研修会を行いました。